

社長のコラム

社員の皆さん日々の業務お疲れ様です。

社内報のネーミングと同じ緑の美しい季節になりました。一年で一番心躍る季節かなと思いますが、気持ちの片隅で東日本大震災の件がどこかにあるのかすっきりしない今日この頃です。

例年より梅雨入りが早いと予報が出ていますので体調には気をつけてくださいね。

上半期が終了しました。GW前の繁忙期はみなさんのおかげで無事乗り切ることができ、ありがとうございます。ありがとうございました。

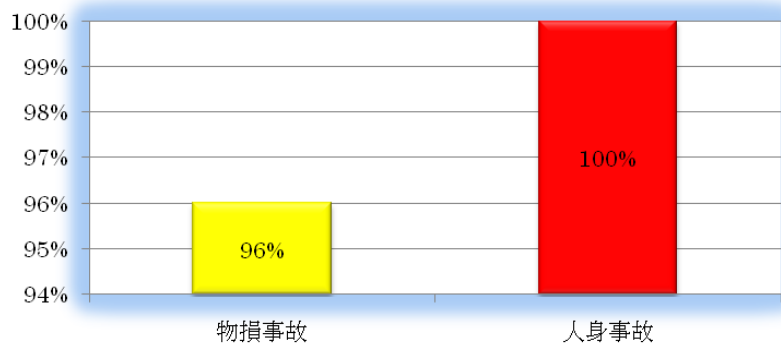
売上実績は累計で前年比118.5%と順調なのですが、相変わらずの原油価格の高騰が経営を圧迫しています。軽油単価の昨年との比較では、同時期（11月～4月）85円～90円の推移から95円～110円になっており平均15円位、金額で2千万円近く前年を上回っています。

大口顧客の運賃ダウンも3月21日からあり、下半期はここ最近にない厳しい状況になります。

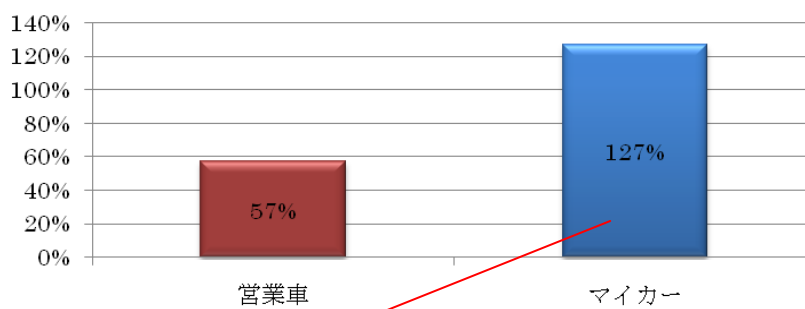
効率化、値上げ等していきますが皆さんも事故等に気を付けて無駄なお金が出て行かない様に下半期頑張りましょう。

平成23年度上半期 事故・違反発生状況

平成23年度上半期事故発生件数 《前年同期比》



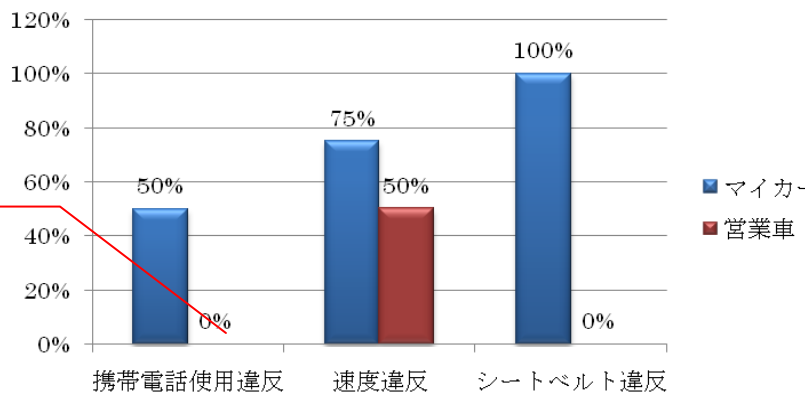
平成23年度上半期 違反発生件数 《前年同期比》



マイカー違反の前年比が増えています。違反種別では速度違反が全体の40%を占めており、殆どが指定速度40km道路で発生しています。標識をしっかりと確認して速度違反のない様にお願いします。

平成23年度上半期 営業車での携帯電話使用違反ならびに座席ベルト装着義務違反は「0」更新中！

主な違反の発生件数 前年同期比



上半期を振り返り

【営業部 営業1課 平 課長】

《上半期の反省》

- 1) 12月・2月のわずか2ヶ月の間に日本郵便輸送様様の同一便において最終的な確認を怠ったため、配車ミスが発生させてしまった。現在は自分を含め植村係長と運行管理部の三重のチェックを行い運行ドライバーへも午前中の配車確認を実施している。
- 2) 営業1課の主要荷主様の運賃7%ダウンまた関西便2便の減便に対しての替わる便がなく日替わりで一般物を探し運行している状態。
- 3) 交通違反による検挙者が後を絶たないため、より一層の注意を呼び掛ける。

《下半期の目標》

- 1) 上半期は幸いにして大きな事故がなかったが、その陰にはほとんどのドライバーの拘束時間の超過が有ります。特に繁忙期前にはかなり無理な運行となっているため、定期便に関しては月末までに来月の配車計画を作成し極力計画的な運行できるように努めます。
- 2) 繁忙期の臨時便、増便に関して優先順位を明確にし、閑散期に繋げられるようターゲットを絞り込み、マイナス7%の利益を1%でも2%でもカバーする。
- 3) 繁忙期には、全員が協力して現場にて対応できる環境を構築する。そうすれば一部のドライバーだけにかかる負担は軽減できるはず、逆にそうしなければ拘束時間の短縮は不可能です。

【営業部 営業2課 川上次長】

皆様、お疲れ様です。

ある統計に新規設立された会社のうち、10年後に生き残っている会社はわずか5%以下であるという記事を読んだことが有ります。そうした厳しい環境の中、当社におきましては皆様の日々の努力を持ちまして今日に至っているものと大いに感謝しております。

さて本年も上半期を終えまして、売り上げ目標を皆様の大きな力により順調にクリア出来たものの燃料の高騰、大口顧客の運賃の値下げ等による外的要因により、思うように利益は残せておりません。大口顧客の運賃につきましては平成21年5月にマイナス6%、平成23年3月にマイナス7%と合わせて13%の減となっております。この数字は皆様の努力を持ち寄っただけで解決できるような数字ではなく、大きな航路の変更さえ求められるものであると認識しております。

変化は未知との遭遇ですから多少の不安は有るものです。しかし変化しないとあの強大な恐竜さえ生き残れない事は歴史が証明しております。下半期、いろいろな変化が有るかも知れませんが、それでも当社には皆様がいます。皆様の協力が有ればどんな変化も出来るものと信じておりますので、どうか下半期も宜しくお願いします。

上半期、本当にありがとうございました。

【営業部 営業3課 渡辺課長】

車両・商品事故の撲滅

前期は商品事故42件、車両事故13件と車両・商品事故の多発した半期でした。係別に分けると8係7件、9係10件、10係10件、11係29件、12係9件と最悪の結果となっております。

今期においては何としても車両・商品事故の削減に努めて行きたいと思っております。特にトラブル件数が多い11係は人員数も37名と大変多く、セガミ、サニー、中川パッケージ、フリーと班分けし細やかな指導・教育またはサポートをやって行くことを考えています。

今後は前期の反省点を踏まえて自分自身が先頭に立ち、グループミーティング・KYT等を有効に活用していきます。KYTでは実際にあった事故についてみんなで意見交換やアイデアを出しながら色んなことに取り組んで事故件数の削減を目標に頑張っていきたいと思っております。